

大阪市立加美東小学校 令和5年度 運営に関する計画（目標別シート①）

評価基準 A:目標を上回って達成した

B:目標どおりに達成した

C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① ・学校アンケート〔児童〕 ※%…肯定的な回答の割合  
「学校が楽しい」… 前年度（後期）92% → 今年度（前期）95%（後期）95%  
・学校アンケート〔保護者〕  
「子どもは楽しく学校生活を送っている」… 前年度（後期）98%  
→今年度（前期）98%（後期）96%

いじめに関しては、小さな事案の早期発見やいじめアンケートによる実態把握などに努め、保護者との連携を行いながら対応し、把握した事案については100%解決できている。日頃から児童との信頼関係を築き、早期発見や実態把握に努める。不登校に関しては、朝から登校しづらい児童や休みがちな児童に対して、校内で情報共有し、担任を中心に複数の教職員で登校支援を継続して行っている。区役所の子育て支援室の担当や子どもサポートネットスクールソーシャルワーカー（こサポネットSSW）との連携を強化し、合同で家庭訪問を複数回行った。組織的な対応を続けていく。

最終評価【B】

- ② ・学校アンケート〔保護者〕  
「学校は子どもの安全確保に努めている」… 前年度97%  
→ 今年度（前期）95%→（後期）95%  
・学校管理下における災害発生件数（通院報告あり）… 前年度20件→今年度（2月末）10件

熱中症対策として、運動会を例年の9月下旬から10月21日へ変更した。運動会練習の後半では、熱中症警戒レベルが下がり安全に練習することができた。警戒レベルに合わせて、注意喚起を変えた。また、けが防止の面では、運動場で遊ぶルールについて、各クラスで帽子をかぶることを徹底したり、休み時間や放課後に教職員が運動場で一緒に遊びながら、その場で指導したりした。そのことで、運動場での大きなけがは減少しているが、ろうかを走る児童がいるので、定期的に指導していく必要がある。

最終評価【B】

- ③ ・人権教育の校外研修に2回参加した。校内研修を1回行った。  
・学校アンケート〔児童〕  
「将来の夢や目標をもっていますか」… 前年度88% → 今年度91%  
「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」… 前年度98% → 今年度99%  
「自分にはよいところがあると思いますか」… 前年度85% → 今年度89%

人権教育では、6月平野区人権教育講演会と11月人権教育実践交流会に参加しながら、人権感覚を研さんし、校内での実践に活かしてきた。学級の実態を把握し、目指す学級集団に向けて、各学級で手立てを講じたことを3学期に校内で実践交流を行い、振り返るとともに次年度へつなげていく。また、キャリア教育では、6年生「バイトル・キッズ・プログラム」において、仕事をしている大人へ直接質問ができる体験を通して、自分の将来の夢や目標につながるよう仕事観を育んだ。中学年「踊育（だんいく）プログラム」では、運動会のダンスを教え合う体験を通して、自己有用感につなげることができた。「ふれあい学習交流会」で6年生は「キッズニア甲子園」での体験を活かして、裁判所などの仕事体験ブースを開き、異学年交流を行った。

最終評価【A】

- ④ ・月45時間以上の教員の割合（1月末）12.5%  
・教員一人当たり平均時間外勤務時間（1月末累計）【R4】30時間46分→【R5】25時間49分

時間外勤務時間の削減については、昨年度よりも大幅に改善されている。年度後半には大阪市平均を下回る月もあり、1月末の年度累計では大阪市平均まであと少しというところまで近づいている。各種行事や会議等について、内容の見直しや効率化を進めてきたことで、時間短縮が図られている。各種サポーターやサポートスタッフの有効活用等により、一人ひとりが長時間勤務の解消に努めてきた。

最終評価【A】

大阪市立加美東小学校 令和5年度 運営に関する計画（目標別シート②）

評価基準 A:目標を上回って達成した

B:目標どおりに達成した

C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① (児)「自分の考えを表現することができていますか」…前年度後期82% → 今年度後期77%  
(児)「本を見たり、読んだりすることが好きですか」…前年度後期83% → 今年度後期79%

授業研究会を中心に国語科の指導方法等を模索しながら実践を積み重ねてきた。他の物語での読み取り学習、全文プリントを作成した読み取り学習、視写を取り入れた学習など、各学年において工夫を行ってきた。しかしアンケートの数値が伸びなかったのは、学習を積み重ねていくことで児童に表現させたい内容が高度なものになってきているからかもしれない。少人数集団での話し合い活動は活発に行われているが、児童が学習のねらいにそった話し合い活動が行われるように指導法の研究をさらに模索していくようにする。

図書委員会発信の取り組みは年間を通して行った。常に改良が加えられた取り組みなので、マンネリ化することなく児童の読書意欲を高めていると考える。また、「おはなしたからばこ」の方々による読み聞かせ、ビブリオバトルなど本に親しむ環境づくりを行ってきた。

最終評価【C】

- ② (児) ICT 機器の活用に関する項目 …目標 80%以上  
「学習でタブレット端末を進んで使うことができています。」… 今年度前期85% → 84%  
「知りたいことをインターネットで調べることが出来ますか。」… 今年度前期82% → 79%

家庭での音読学習を点数化できるアプリを活用したり、学習内容をノートに記入するのではなくタブレットに保存したりするなど、タブレットの操作をする時間を増やすようにしてきた。高学年ではタブレットをノート代わりに使用したり、調べ学習に使用したりと学習時に便利なツールとして日常的に活用できるようになってきた。中学年では、発表の場面など単元や学習内容に応じて活用し、操作のスキルが向上してきた。低学年児童もタブレット端末を操作することに慣れてきた。

発達段階を考慮しながら取り組んだが、目標値を達成することはできなかった。

最終評価【C】

- ③ (児)「体を動かすことやスポーツをすることは好きですか」…目標90% → 今年度前期91%  
(児)「昨日の夜は、早く寝ましたか」…今年度1学期63% 2学期66%  
(児)「今日は、早起きができましたか」…今年度1学期74% 2学期80%  
(児)「はんかち、ティッシュは持って来ていますか」…今年度1学期69% 2学期76%  
(児)「よいしせいを心がけましたか」…今年度1学期74% 2学期80%

体を動かすことに関する項目では、目標値を超える結果となった。体育科の学習では、学習カードを作成したり、グループ活動を取り入れたりして児童が意欲的に取り組めるように工夫した。また、なわとび週間やかけあし週間を設定し全校一斉に運動に取り組む時間の設定もした。設定された時間以外にもなわとびやかけあしに取り組む児童の姿が多くみられた。また、多くの学級でみんな遊びの時間を作り指導者も一緒に外遊びに取り組んだことも効果的であったと思う。

健康チェック週間の調査結果によると、早寝の習慣が身についていない児童が多いことが気になるが、1学期よりも2学期の方が数値が上昇している。自分の身体や健康に対する意識は高まっているので、継続的に声かけをしていくようにする。

最終評価【B】